

■意見交換の内容

富士駅きたぐちのまちの課題や再整備のポイントに関するお話をもとに、2グループに分かれ、まちの問題点や課題、目指すべき方向やほしい機能について意見交換を行いました。

グループ①

★主な意見

○まちの問題点、課題など

- ・ 来街者の減少が激しい。商店街だと買回り品が揃わないから車で買いに行くしかない。
- ・ 本町通りは、富士山が真正面に見える。富士山をアピールしたい。
- ・ 店舗を借りたいという問い合わせはそれなりにある。
- ・ 賃料はかなり安く設定しているが、借り手がいない。
- ・ 富士駅北口の問題は、周辺人口が少ないこと、道路網が不便なことと考えている。
- ・ スポーツクラブ利用者は多いが、駅周辺に駐車場がないので、利用後に街には来ない。
- ・ 富士駅周辺にはわりとクリニックなどは充実している。

○まちの目指すべき方向・ほしい機能など

- ・ 利便性の高い住み心地のよいマンションに住みたい。
- ・ 大規模な店舗でなく、富士ならではの店、例えば紙製品関連の店などがあるとよい。
- ・ 生活必需品が揃うお店がほしい。
- ・ 調理や看護などの専門学校と、専門学校生が訓練できるお店があるとよい。

グループ②

★主な意見

○まちの問題点、課題など

- ・ 昔は商店街が栄えていたが、郊外店舗ができてダメになった。商店街に駐車場がない。
- ・ 駅周辺は生鮮三品の店がない。
- ・ 人が商店街を通らない。
- ・ 高齢者が増えていることで将来がどうなっていくのか心配である。
- ・ 富士山の眺望に対して、住んでいる人は意識が薄い。
- ・ 分譲マンションを作っても人が住まない。
- ・ 来街する外国人は昼間の飲食店を探しているが、対応できていない。
- ・ 駅前地区の構造を根本的に変えていかないと、今の形ではダメである。

○まちの目指すべき方向・ほしい機能など

- ・ 商店街はJR・駅と結びつくべき。交流プラザとの結びつきが弱い。
- ・ パピー跡地をイベント広場にして、イベントをしてもらおうと人が来るのではないか。
- ・ 駅前広場をイベント広場にして、商店街のやる気のある人がイベントしたらどうか。
- ・ 将来のまちを考えると道路を変える発想で大きくまちが変わることも必要だろう。
- ・ スムーズに歩行者がアプローチできるようにしたい。安全な街だからこそ人が集まる。
- ・ 王子製紙の意向を聞いて、開発に取り込む必要があるのではないか。
- ・ 富士駅を利用してくれるように、まちづくりに生かすことが重要である。
- ・ 駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりを進めたい。

検討会の内容や参加などに関するお問合せは、検討会会員または事務局までお願いいたします。

【事務局】富士市都市整備部市街地整備課（再開発担当）

【TEL】0545-55-2797【E-mail】t-shigaichi@div.city.fuji.shizuoka.jp

きたぐち再整備だより

vol.2

【発行】富士駅きたぐち再整備検討会

【発行日】平成26年11月

去る10月3日に第2回検討会を開催し、19名が参加しました。

今回の検討会では、検討会や市による富士駅きたぐちの再整備の検討をお手伝いするコンサルタント（株式会社アール・アイ・エー）を紹介し、コンサルタントによる富士駅きたぐち周辺のまちの課題や再整備のポイントなどのお話がありました。また、コンサルタントのお話を踏まえ、参加者同士で富士駅きたぐちの再整備やまちの課題などについて活発な意見交換を行いました。

■26年度の活動について

★目標スケジュール

回	開催時期	内容
1回目	5月	●取組状況について ① 平成25年度の取組概要 ② 平成26年度の取組（予定）
2回目	10月3日	●富士駅北口のまちについて ① 今年度の活動について富士駅北口のまちについて ② 再開発によるまちづくりの事例について
再開発視察会	11月27日	市街地再開発事業等を実施した先進地の視察を行います。 （名古屋市アスナル金山・豊田市再開発を予定）
3回目	12月	●市街地再開発事業とはどんな事業か？ ③ 市街地再開発事業について（1） ④ 富士駅北口のまちづくりについて
4回目	平成27年1～2月	●富士駅北口での再開発のイメージ ① 市街地再開発事業について（2） ② 富士駅北口での再開発の事業モデル
5回目	3月	●富士駅北口のまちの将来像について ① 富士駅北口の再開発について ② 今後の進め方

※ 上記のスケジュールは、再開発等の検討状況や、検討会の方々の参加状況、興味や関心の内容などをみながら、変更する可能性があります。

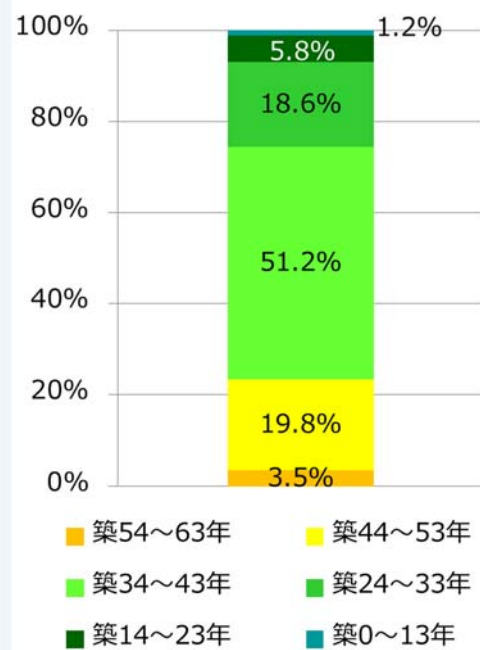
■富士駅きたぐちのまちについて

○まちの課題・まちづくりのポイントについて

- ① まちの賑わいをどう取り戻すか？ 大規模な未利用地をどう活用するか？
- ② 隣の建物と連続している建物をどう更新するか？
- ③ 渋滞の問題 通過する自動車をまちに呼び込む
- ④ 特徴的な街並み（けやき通り）を活かす 街並みをつくる
- ⑤ 富士山を活かす まちからの富士山の眺望を確保する
- ⑥ 富士駅と交流プラザとのつながりをつくる

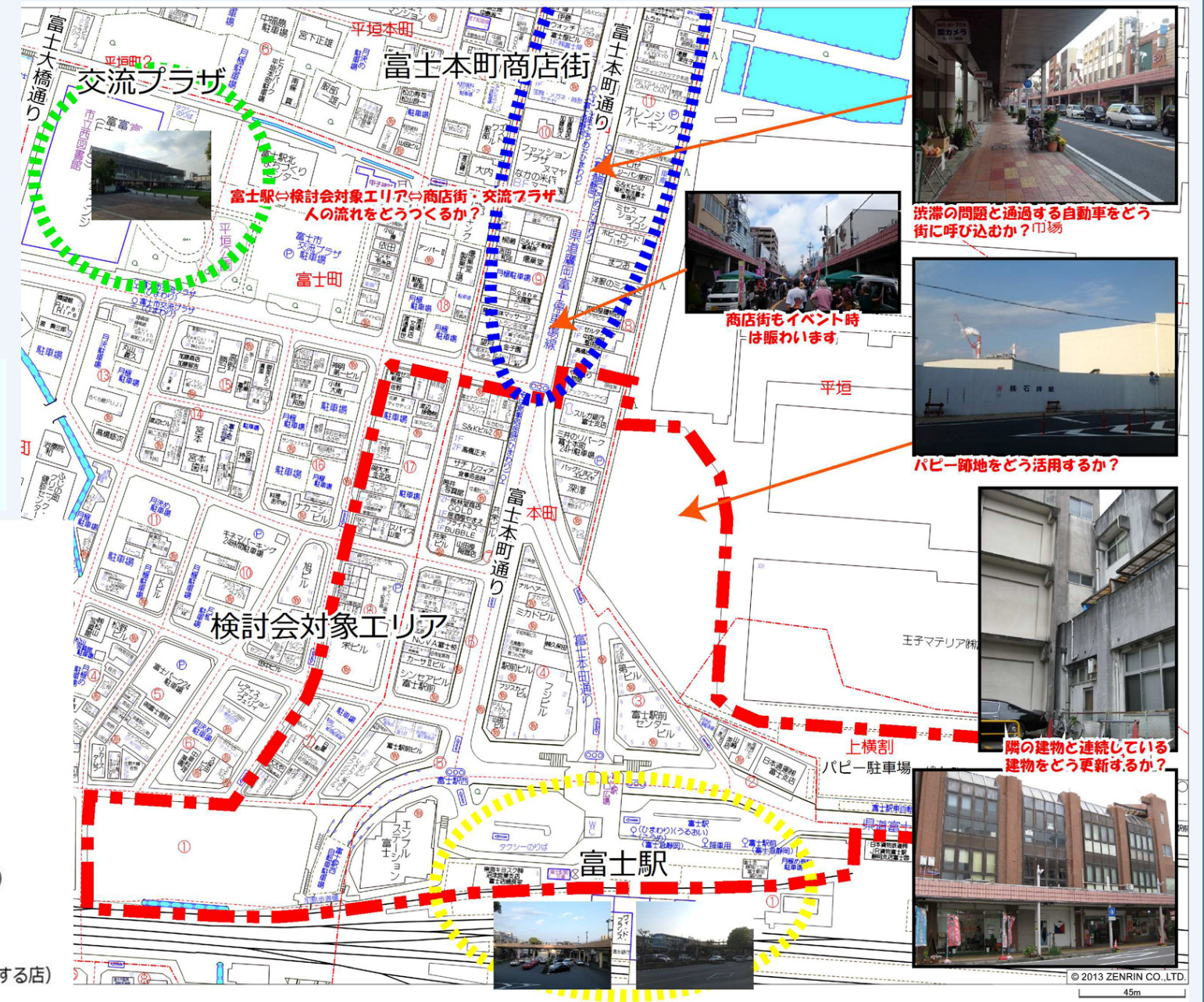
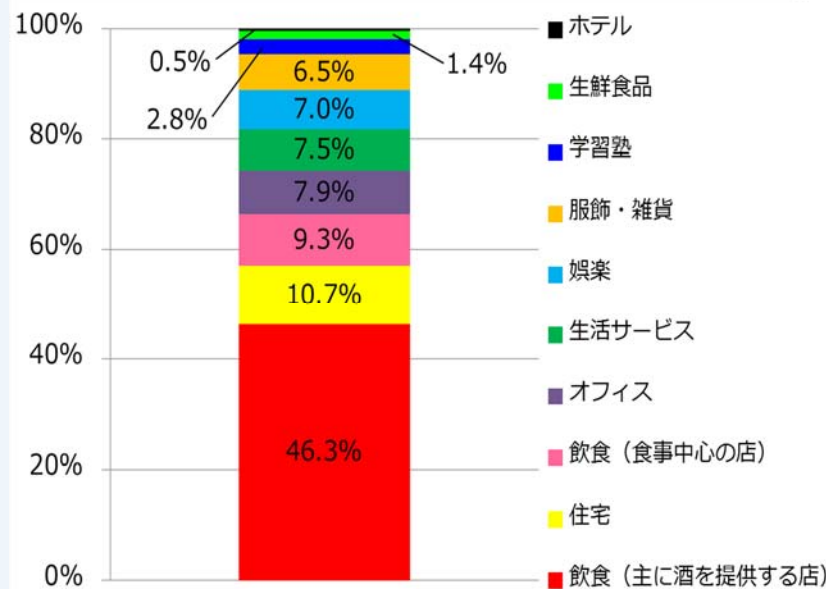
【対象地区内の建築年数別の建物の割合】

・地区内の建物の約75%が、耐震性が旧基準の時期の建物となっており、防災面から改善が望まれます。



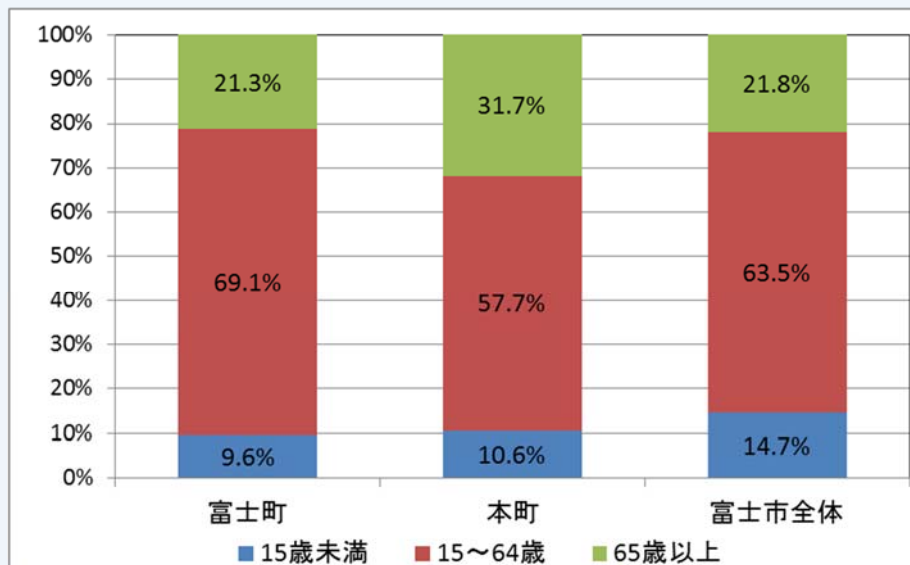
【対象地区内の建物の利用状況】

・地区内全体の約45%を飲食店関係が占めており、日中よりも夕方以降に営業している店舗が多くみられます。



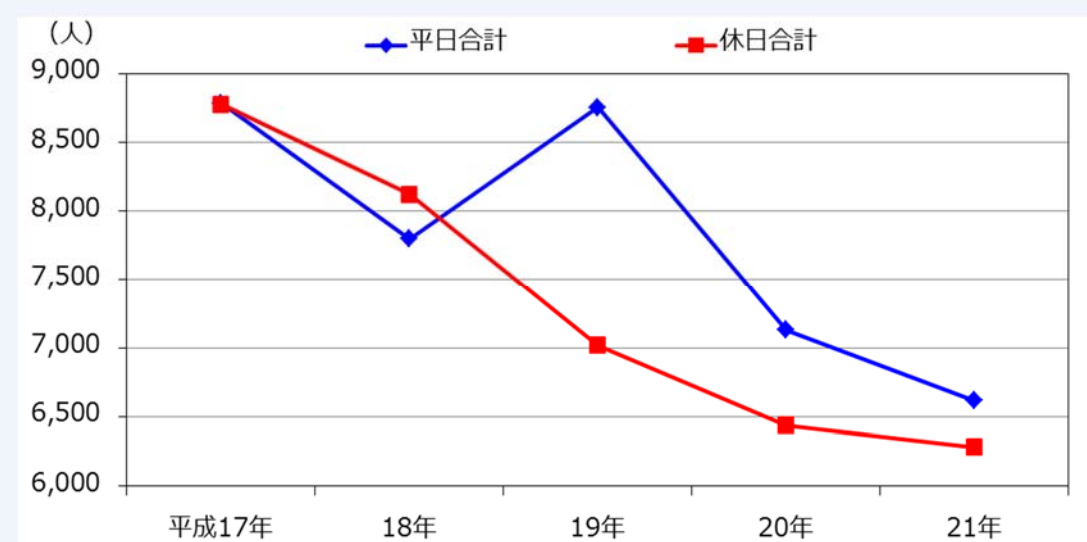
【富士町・本町・富士市の年齢別人口割合】

- ・富士町では15～64歳の割合が市全体より高い状況です。
- ・本町では高齢者の割合が市全体より高い状況です。



【富士本町通りの通行者数の推移】

- ・通行者数は、年々減少傾向にあります。
- ・近年は、休日より平日の通行者数が多い状況となっています。



★検討会の様子

10月3日の開催の様子です。参加者のご意見等は最後のページの裏面に記載しています。

